



吹田市立山田第三小学校

学校だより 冬休み号

令和6年(2024年)12月24日発行

TEL 06-6877-5701 FAX 06-6877-5708

URL: [HTTP://WWW.SUITA.ED.JP/GAK/ES/22-YAMADA3/](http://www.suita.ed.jp/gak/es/22-yamada3/)



よいお年をお迎えください



2024年のノーベル平和賞は、被爆者の立場から核兵器廃絶を訴えてきた日本被団協＝日本原水爆被害者団体協議会が受賞しました。核兵器のない世界を実現するための努力と核兵器が二度と使用されてはならないことを証言によって示してきたことが受賞理由となりました。

日本のノーベル平和賞は、非核三原則を表明した佐藤栄作元総理大臣が1974年に受賞して以来、50年ぶりです。

日本被団協は、広島や長崎で被爆した人たちの全国組織で、68年間にわたり、被爆者の立場から核兵器廃絶を世界に訴える活動や被爆者の援護を国に求める運動を続けてきました。

11月に全校児童で作った折り鶴を携え、6年生が人権平和学習の集大成として広島へ行ってきたばかりです。平和公園での碑めぐりで話を聞かせていただいたボランティアも日本被団協の方々です。

児童には、この度のニュースとボランティアの方々がお話されていた内容や活動を結びつけ、人権や平和の大切さをより身近に感じて欲しいと思いました。

また、ノーベル賞の選考委員会は、受賞について「いつの日か被爆者が存在しなくなる時が来るだろう。しかし記憶をとどめる継続的な取り組みによって、日本の新しい世代は被爆者たちの経験とメッセージを伝え続けている。核兵器をタブーにするという、人類の平和な未来に不可欠な条件を維持することに貢献している(抜粋)」と理由を示しています。

ノーベル平和賞という偉大な賞を日本人が受賞したことは誇りです。しかし、今も戦争は世界各地で起きています。先月号に掲載した「平和を守るために、まずは周りの人を大切にする。」という児童の言葉も受け、本校では今後も、人権教育や平和学習をしっかりと進め、その意義を伝えていきたいと思いました。

ご家庭でもこの度のニュースや人権や平和について話題にし、共に考えていただければ幸いです。

明日から冬休みですが、家族の一員としてお手伝いなど自分の役割をしっかりと果たすことのできる休みであってほしいと思います。

最後になりましたが、本年も保護者の皆さま、地域の皆さまには本校の教育活動にご理解、ご協力を賜り本当にありがとうございました。よいお年をお迎えください。

校長

1月行事予定

日	曜	内容
1	水	
2	木	
3	金	
4	土	
5	日	
6	月	
7	火	
8	水	始業式
9	木	給食開始 6年二測定 SSW 教育相談 府 SC
10	金	マラソン週間(～23日) 5年二測定
11	土	
12	日	
13	月	
14	火	学力保障の日 4年二測定 ICT 支援員
15	水	4時間授業 3年二測定
16	木	2年二測定 SSW 教育相談
17	金	1年二測定
18	土	
19	日	
20	月	委員会活動⑨ 給食週間(～24日)
21	火	ICT 3年昔遊び
22	水	4時間授業 劇団「角笛」観劇会
23	木	SSW
24	金	オープンスクール 体育参観 6年薬物乱用防止教室 5h
25	土	
26	日	
27	月	児童集会 クラブ活動⑨
28	火	IC 支援員 3年校外学習(博物館館見学)
29	水	いのこ
30	木	SSW 教育相談 ICT 支援員
31	金	ジャンボ昼休み

放課後や休日の過ごし方

先日、福岡県北九州市の飲食店で中学生が刺される痛ましい事件が発生しました。不幸な事故や事件に巻き込まれることがないように、「子どもだけで校區外に出ない」や「子どもだけで飲食店を利用しない」など、放課後や休日の過ごし方についてご家庭でもご指導ください。

2月行事予定

日	曜	内容
1	土	
2	日	
3	月	全校朝会 委員会活動⑩ 府 SC 6年西山田中見学会
4	火	学力保障の日 ICT
5	水	いのこ
6	木	SSW 教育相談
7	金	短縮5時間授業(3-1のみ15時下校)
8	土	
9	日	
10	月	参観・懇談3・5年 あらぐさ個人懇談 入学説明会 学校説明会
11	火	
12	水	あらぐさ個人懇談 いのこ
13	木	参観・懇談1・6年 SSW あらぐさ個人懇談
14	金	参観・懇談2・4年 あらぐさ個人懇談 6年西中SC
15	土	
16	日	
17	月	児童集会 クラブ活動⑩
18	火	学力保障の日 ICT 支援員 2年国際理解教育(ゲストスピーカー) 6年西山田小と交流
19	水	4時間授業 いのこ
20	木	SSW 教育相談
21	金	ジャンボ昼休み
22	土	
23	日	
24	月	
25	火	ICT 支援員
26	水	いのこ
27	木	SSW
28	金	

下校時間のお知らせ

2月7日(金)は、教職員研修(研究授業)のため3年1組以外は短縮5時間授業です。午後2時頃に下校します。

3年1組の児童は研究授業後、午後3時頃に下校します。ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

平和について考えました

11月に全校で平和学習に取り組みました。

今年も、広島からお借りしている原爆絵画を鑑賞し(2年生～6年生)、各学年で平和・戦争についてのビデオを通して、戦争の悲惨さや平和について学習しました。

6年生は、平和学習の総まとめとして修学旅行で広島へ行き、現地の語り部さんから貴重な体験談も聞いてきました。

子どもたちは、戦争の恐ろしさを実感し、平和とはどういうことなのか、平和な世界にするためにはどうしたらいいのかを考えました。

学習を終えた子どもたちの感想など、学年のとりくみを紹介します。

1年生

1年生は、平和ビデオ「ちいちゃんのかげおくり」の鑑賞をしました。

- せんそうってやっぱりこわいっておもった。
- ちいちゃんがかぞくとはなれたところがかんがなしかつた。
- 日本で戦争があったとかがえるとこわくなった。
- ちいちゃんは3さいくらいなのに一人ですごしているのがかわいそうだった。
- 空からげんぱくをおとされたのがかわいそう。

(児童の感想から)

戦争によって当たり前なのが失われる悲しさを感じていました。

2年生

2年生は、原爆絵画展の見学、平和ビデオ「おかあちゃんごめんね」を鑑賞しました。

- これからもへいわでいてほしいと、もっともった。
- せんそうのせいで、おかあさんをなくして、女の子がかなしんでいるのを見て、とってまかなしかつたです。
- せんそうはほんとうにあぶないし、いのちがなくなるからやめてほしいなと思った。(児童の感想から)

自分を犠牲にし、子どもを助けようとするお母さん。お母さんを失ってしまう子ども。両方の気持ちを感じ取り、「大切な人を亡くす戦争は、絶対にしてはいけないう」と強く感じていました。

3年生

3年生では、平和週間に「しんちゃんのさんりんしゃ」を鑑賞し、原爆絵画展を見学しました。

原爆で引き起こされたことは本当に悲しく、パネル展示は、私たちがどんなに危険なことになるか、「幸せな日々」から生活が一変してしまうことなど深く考えることができました。

《子どもたちの振り返り》

- 戦争なんて、命を無駄にしてしまうものだから本当にやめてほしいと思いました。
- しんちゃんがはじめてもらった三りん車にきみちゃんを乗せたのは、元気がないので乗せてあげたいという思いから。
- 人が戦争で死んでしまうのはこんなに悲しいんだ。

などの感想がありました。平和週間の取り組みを通して、平和であることに感謝をし、前向きに生活していくよさについて考えることができました。

4年生

4年生は、原爆絵画展の見学、平和ビデオ「はとよ広島の空を」を鑑賞しました。

〈児童の感想より〉

- 昔の子どもたちは、学校に行けず兵士の仕事や手伝いをさせられていた。お父さんは兵士として呼び出され、戦争に行かされて、一生会えない人もいたのでとても悲しかった。
- 戦争のことを考えたら、たくさんの人々がなくなって、水も食料ないから、かこくな生活をしていてかわいそうだと思った。
- 原爆は、つみのない人々、動物や植物の命、たとえ生き残っていても、よろこびや幸せもうばうものだと思います。

など、子どもたちは平和について改めて考えることができました。また、原爆絵画展を見学し、戦争や平和について向き合う心を育て、理解を深めました。

5年生

5年生は、平和週間では平和ビデオ『つるにのって』の鑑賞、原爆絵画展の見学をし、戦争や原爆について考えました。

- 今まで千羽づるを何となく折っていたけど、このビデオを見て、どんな思いが込められているの分かりました。来年は、平和の願いを込めて鶴を折りたいと思いました。
- 改めて、戦争はおそろしいことだと思いました。自分が思っているよりざんこくだったし、しょうげきをうけました。
- 世界中の人と力を合わせて、平和を作っていきたい。

〈児童の感想より〉

平和週間の取り組みや6年生の修学旅行後の報告を聞き、来年度、これまでに学習してきたことを下級生にしっかりと伝えてほしいと思います。



6年生

6年生は、社会科の歴史学習で戦争について学び、平和ビデオ「夏服の少女たち」の鑑賞、原爆絵画展の見学をしました。そして、広島へ修学旅行に行きました。

平和学習の初めは「戦争はいけないうこと。」と考えた子どもたちでしたが、歴史学習、平和学習、修学旅行での資料館の見学、平和記念公園をボランティアさんに説明していただきながら碑めぐりをする中で、「1発の原爆で想像よりもたくさんの人や物が消えたことがわかつた」「被爆して生き残つた人も自分の体や亡くなつた家族のことで何年も苦しんでいると知つた」など戦争の悲惨さや被爆者の苦しみに触れることができました。

「戦争をしないために」という考えはもちろん必要ですが、「人権を大切にすう」という視点から、自分が今できる平和のための行動を考えました。「人を傷つける言葉を使わない」「人の意見を否定せず、尊重する」など自分のこととしてとらえ、行動していきたいという考えを持っていました。